



まず、伝えたいと思う内容を全て書き出してみましよう。そして、中心となる内容を決め、中心となる内容とそれを説明する部分との関係を検討し、話す順番を考えましよう。

相手に何かを話すときには、自分がいちばん伝えたい内容が明確になっていることが大切です。伝えたいこと
の中心とそれをわかりやすく説明するための内容とを関係づけて話の構成を工夫しましよう。



構成を考える



話題

構成・考えの形成

表現・共有

構成を考えて話す

①伝えたい中心
的な内容を決める。

一生懸命努力しているナツさんを、尊敬する。必ず報われると思う。



②中心的な内容を説明するエピソードを決める。

ナツさんは大会で初戦敗退したが、休みの日にも自主練習をしている。



③伝えたい内容に関連づけるにふさわしい名言を選ぶ。

常によい目的を見失わずに努力を続ける限り、最後には必ず教わる。
(ゲーテ)

進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む。
(福沢諭吉)

■構成を考える方法
スピーチ「今、あなたに贈りたい、この名言」

目標

- 中心となる内容とそれを説明する内容の関係を踏まえながらスピーチの構成を考える。
- 相手の反応を見て、それに応じた表現の仕方を工夫する。



学習活動の流れ

話題

1

- ①伝えたい中心的内容とそれを説明するエピソードを考える。
- ②伝えたい中心的内容や、エピソードに関係する名言やことわざの候補をできるだけ多くあげる。

構成・考えの形成

2

伝えたい中心的内容とそれを説明する内容の関係を意識しながら、話す順番や表現の仕方を検討する。

表現・共有

3

- ①四〜五人のグループでそれぞれがスピーチする。その際、聞き手の反応を見ながら、話し方を工夫する。
- ②スピーチしたあと、わかりやすかったかどうか、聞き手の反応を見ながら工夫できていたかなどについて意見を伝え合う。

話すときのポイント

スピーチの前に、最も伝えたいことをもう一度確認しよう。



ゲートルは、……
と言っています。



……
ナツさんは、



話し手のときには、聞き手が首をかしげるなど、わかりにくそうな様子をしていたら、声の大きさや速さ、間のあけ方などを工夫したり、別の言葉で再度表現したりするなどしてみよう。



言葉・情報

……について知っていますか。(聞き手の反応を確かめる表現)



学びを生かす

弁論大会や演説などをするとき役に立てよう。



今、あなたに贈りたい、この名言

① 私はナツさんに「常によい目的を見失わずに努力を続ける限り、最後には必ず救われる。」という、ドイツの詩人ゲーテの名言を贈ります。

② ナツさんは現在、私と同じテニス部に所属しています。この前、最初の公式戦である新人戦が開かれましたが、ナツさんは残念ながら初戦で敗退をしまいました。

③ (中略) 新人戦の結果の悔しさから、ナツさんが部活動が休みの日もテニスコートに行って家族と自主的に練習をしていることを私は知っています。

④ そんなナツさんに、初めに言った名言を贈りたいです。「常によい目的を見失わずに努力を続ける限り、最後には必ず救われる。」という、ドイツの詩人ゲーテの名言です。(中略)

ナツさんの努力を私は尊敬しています。そしてその努力は必ず報われると思います。無理をしすぎではいけません、これからも楽しみながらも一緒に練習をがんばって、一緒にうまくなりたいです。

① 最初に主張を明確にしている。

② 自分とナツさんとの関係や、ナツさんの状況について詳しく説明している。

③ 直前の内容(初戦敗退)とその後の内容(自主的に練習)との関係を意識して、前後がつながるように述べている。

④ 聞き手が冒頭の言葉を忘れていた様子なので、もう一度名言を繰り返している。

振り返り

- 話の構成、表現の仕方などに気をつけて説明しているか。
- 相手や場の状況に応じて表現を工夫しながら話しているか。